

都民ファーストの会

豊島区議団・民主の会

発行元
都民ファーストの会 豊島区議団・民主の会
 区政のことはお気軽にご相談ください

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1-9F
 TEL: 03-4566-2946
 FAX: 03-3980-2346
 e-mail: info@tominfirst-toshima.tokyo

～新春によせて～ 幹事長あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染が猛威を奮い、区民生活は大きな影響を受け、地域活動も大きく制限されました。

こうした中、私たち会派では、「**新型コロナウイルス感染対策への迅速な対応**」、「**区内事業への継続支援**」、「**区民の暮らしを守るための独自の対策**」など、「まち」の活気をよみがえらせ、区民の皆さんがより安全で安心できる生活を取り戻せるようにするため、効率的かつ効果的な行政運営に取り組むよう提案して参りました。

引き続き、感染防止対策と社会経済活動のバランスを取りながら、これまでの教育におけるICT活用に加え、デジタルトランスフォーメーション(DX)による区民生活の一層の充実、小中学校の計画的な改築・改修をはじめ、社会に必要なインフラの維持・整備、緑化推進を始めとする環境問題、防災対策、さらには、本区の文化資源の活用やとしまキッズパークで打ち出したインクルーシブなまちづくりなどを目指していくことが重要と考えております。

これからも、本区の特長や課題を踏まえ、地域と連携しながらSDGs未来都市の理念を踏まえた持続発展都市への歩みを進めて参ります。今後とも、皆さまの一層のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に、本年が皆さまにとってより良い年となりますよう御祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。



児童虐待ゼロを目指し、令和4年度開設予定の児童相談所の工事現場。長崎健康相談所との複合施設となります。

学校施設等長寿命化計画の策定

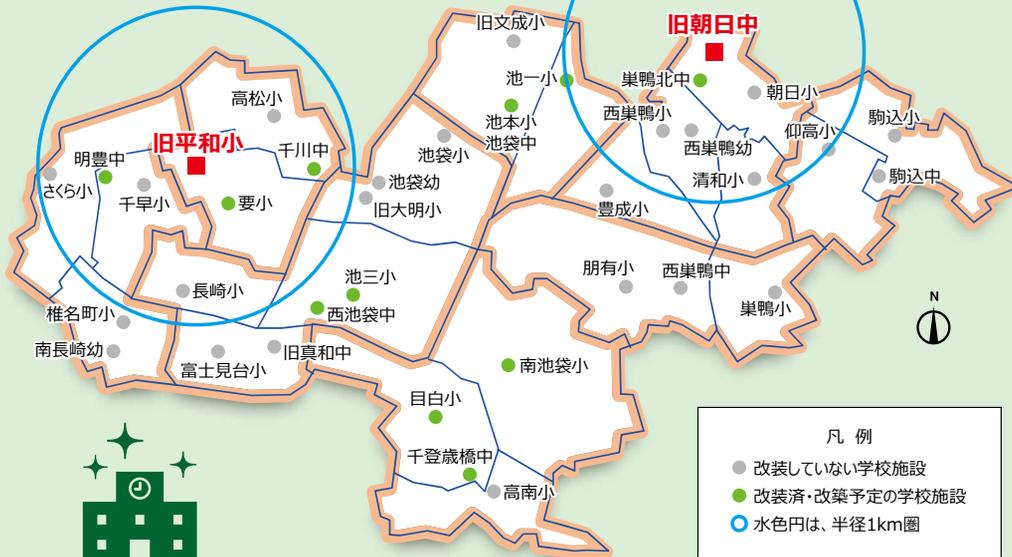
学校施設は子供たちが学び、生活する場であることに加え、災害時には地域住民の避難場所としての役割もあるため、適切な管理による安全安心な状態の維持が必要です。

本区の学校施設については、「豊島区立小・中学校改築計画」に基づき、学校改築がこれまで進められてきました。令和3年11月には、長寿命化改修も含めた老朽化対策や施設更新を今後も計画的に進めていくことを目的として、「豊島区学校施設等長寿命化計画」が策定されました。

今回の計画期間は、令和4年度～令和13年度までの10年間ですが、財政状況や国の補助制度の変更、園児・児童・生徒数の推移等、教育環境を取り巻く変化に柔軟に対応するため、令和8年度を目途に計画の見直しが行われます。

今回の計画で主に定められたことは以下の通りです。

旧平和小学校跡地と旧朝日中学校跡地の仮校舎活用



- 旧平和小学校を仮校舎として千川中学校・要小学校の改築。
- 旧朝日中学校を仮校舎として周辺校の改築を検討。
- 仮校舎候補地から距離がある学校施設については、長寿命化改修の実施を検討する。

学校改築や長寿命化改修等につき、少しでも早く進めるよう、引き続き区へ働きかけます。



星 京子
 会派幹事長
 環境・清掃(特委)委員長



里中 郁男
 会派副幹事長
 区民厚生委員長



永野 ひろ子
 副都心(特委)副委員長



河原 弘明
 行財政(特委)委員長



細川 正博
 監査委員



中澤 まさゆき
 子ども文教副委員長



元谷 ゆりな
 副都心(特委)小委員

第3回定例会

令和3年第3回定例会は、9月15日から10月22日まで行われました。

9月22日の一般質問では里中郁男議員が登壇し、「思いやりと感謝で築く豊島区に」と題し、現在の新型コロナウイルスワクチンの接種の進捗状況、ひきこりの支援、住宅問題、成年後見人の養成等について提言しました。24日には、中澤まさゆき議員が登壇し「としまの未来」と題して、災害時の個別避難計画の作成、ひきこりの相談窓口の現状、池袋の都市再生について提言しました。

議案は、令和2年度一般会計及び3特別会計決算等 認定4件、区長提案13件、議員提案3件、報告4件のうち3件了承、1件承認。陳情は、7件を審議しました。

国民的行事での手話通訳等による情報保障を求める意見書

東京2020オリンピックの開会式の放送に手話通訳がなかったことから、障害者への情報保障のあり方の検討と、今後の国民的行事での情報保障で合理的配慮を求めるもので、国と東京都それぞれに提出されました。

オンラインによる本会議の実現に必要な地方自治法の改正を求める意見書

一般の新型コロナウイルス感染症拡大等、有事の際にも、議会の業務を継続するため、本会議運営をオンラインにより行うことができるよう、地方自治法を改正することを求めるものです。当意見書については、議会改革検討会の災害時の議会体制として審議されるよう提案し、同検討会では同時に議会BCPの策定等に様々な提案を行いコロナ禍での議会の体制整備に取り組みました。



令和3年決算委員会

令和2年度一般会計、3特別会計決算認定に賛成。私たちの会派では、都民ファーストの視点・情報公開が十分か・賢い支出がなされているか・持続可能性があるか、という会派の観点にたち、令和2年度決算の審査をしました。

令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症対策に終始したこと、歳入・歳出ともに過去最大の決算額となりました。過去最大の決算でありながら、投資的経費は、「百年に一度の集中投資」が完了したことにより、前年度比で大幅な減となりました。また、過去の教訓を踏まえて、起債を極力抑えた決算でもあり、貯金と借金のバランスも貯蓄超過を増やすなど、コロナ禍であっても、区財政への影響を最小限に抑えつつ、財政の健全性を保持した決算であると認識し、高く評価しました。

また、歳入面では、特別区民税が課税人口の伸びや一人当たり課税額の増などにより、過去最大の決算額となりました。これは、本区がこれまでに進めてきた文化を基軸としたまちづくりである「国際アート・カルチャー都市」の推進が、大きく評価された結果であると確信しています。今後も、「子どもと女性にやさしいまちづくり」を推進し、「としま新時代」を切り拓く区政を推進するよう求めました。



第4回定例会

令和3年第4回定例会は、11月17日から12月7日まで行われました。

11月24日の一般質問では河原弘明議員が登壇し、「明るく活気のある街づくり」と題して、令和4年度の予算編成、新型コロナウイルス感染症対応、温暖化対策、児童相談所の設置、トキワ荘マンガミュージアムの今後の展開と周辺地域の活性化、不登校・いじめ・教職員の不祥事について質問しました。

翌25日は元谷ゆりな議員が登壇し、「希望あふれる街としまをめざして3」と題して、長崎地域の街づくり、災害対策、がん対策、創業支援、文化施策について質問しました。

また、昨年に引き続き人事委員会の勧告を受け、特別職・職員・議員の期末手当引き下げの条例が出され可決されました。詳細は下記の通りです。

議員の期末手当引き下げ条例に対するわが会派の見解

議員報酬の期末手当を0.15月引き下げる議員提案条例が全会一致で可決されました。

私たちの会派も他の会派との合意を優先して賛成しましたが、不十分な対応です。

区職員の期末手当の水準については特別区人事委員会の勧告が行われますが、**昨年在0.05月引き下げ、今年が0.15月引き下げ**と、コロナ禍で業務が繁忙となっているにも関わらず2年連続の引き下げとなっています。

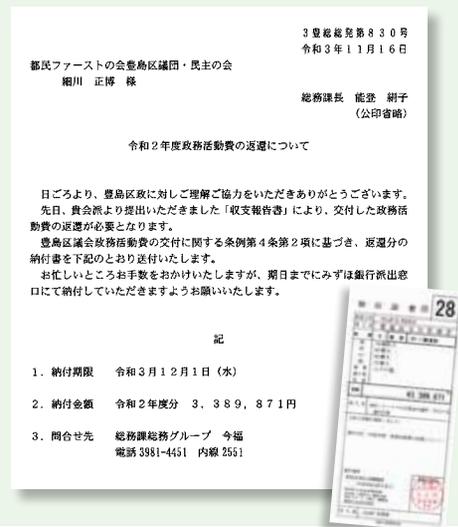
一方の議員報酬も引き下げは行っていますが、私たちの会派は不十分であると考えています。昨年の議員の期末手当は**0.05月分を1回限り引き下げる対応**としたため、コロナ禍における**2年間の合計では区職員よりも0.05月分引き下げ幅が小さい結果**となっています。

そのため、**私たちの会派は期末手当のうち、今期の間は0.05月分を自主的に受け取らないこと**といたしました。

議員には寄附行為の制限があるため、専用の口座に返還相当額を預け、議員引退時に区へ返還いたします。また、口座の残高は会派HPで公開いたします。



なお、昨年の期末手当の支給時にも、私たちの会派は下げ幅が不十分であると考え、本筋とは違いますが、政務活動費のうち令和3年1～3月分相当額を自主的に不使用として返還しています。詳細は会派HPをご覧ください。



令和4年度予算要望書を提出



令和3年12月2日、令和4年度予算要望書を区長に提出しました。

要望書の提出にあたっては「持続可能な発展都市豊島区を目指して」、11分野の区政全般に関わる要望を提出。重点項目として「新型コロナウイルス感染症対策について」、「新型コロナウイルスによる影響から早期に立ち直る取り組みについて」を掲げました。本区での迅速な感染対策や事業の継続への支援、区民の暮らしを守るための独自の対策など、区民生活を一層充実させる施設の展開を求めて参ります。